



DUMOL

デュモル
2021年ヴィンテージを振り返る

デュモルから、アペレーションブレンドと畑名のワインで構成された、2021年ヴィンテージを自信を持ってご紹介します。25年以上に及ぶ、ロシアンリヴァーヴァレーという冷涼な産地におけるピノワールとシャルドネの栽培と醸造を振り返ってみても、このヴィンテージがワイン造りに関して今までで屈指のシーズンだったと考えています。

デュモルを市場に送り出すにあたって、重要な役割を担っていただき、ありがとうございます。あなたのパートナーシップ、モチベーション、そして非凡なワインを追い求める情熱に感謝します。

マーク・ガーガイ
セールスディレクター
MARC@DUMOL.COM
925.788.2473

クロエ・レフラー
輸出マネージャー
CHLOE@DUMOL.COM
510.847.6911

目次

- 1 2021年ヴィンテージを振り返る
- 2-3 ウェスターリーチ:マルチヴィンヤード スーパーキュヴェ
- 4-5 2021 ウェスターリーチ シャルドネとマップ
- 6-7 2021 ウェスターリーチ ピノワールとマップ
- 8-9 沿岸地域の畑のマップ
- 10 2021 クロエ シャルドネ
- 11 2021 ハイドヴィンヤード シャルドネ
- 12 2021 デュモルエステートヴィンヤード シャルドネ
- 13 2021 デュモルエステートヴィンヤード ピノワール
- 14 2021 ライアン ピノワール
- 15 2021 フィン ピノワール

2021年ヴィンテージを振り返る

2021年ヴィンテージは歴史に残る傑作と言っても過言ではありません。個人的に、キャリアを決定づけるワインがいくつかあり、自分のワイン造りのハイライトだと考えています。挑発的な発言だということは自覚した上で、私たちが手掛け、この1年をかけて提供するワイン全体を考えてみても(そして飲んでみても!),これがデュモル最上のヴィンテージであるという主張を覆すのは難しいでしょう。2018年のヴィンテージにも同じことを言ったかもしれませんが、2021年は名を馳せた2018年をも超えています。デュモルでは、この2021年のワイン全体に対して、強い達成感と大いなる誇りがあるのです...

この卓越したレベルを生み出した畑と栽培シーズンの状態:乾燥したシーズンで、ブドウ樹自体ががんばらなければならない状況でしたが、ストレスがピークに達することは一度もありませんでした。果房は疎着で、小さく、果皮が厚い果粒です。7月と8月は、品質の可否が決まることがありますが、穏やかな気候でした。収穫は程良いペースで実施できたため、外部要因による強制や熱波のストレスによることなく、自分たちのヴィジョンに沿って、各区画の収穫を行えました。最後に、モチベーションと結束力の高いブドウ栽培家やワイン醸造家が揃う優れたチームも要因です。ブドウがこのようにピカピカの状態で、醸造は複雑な要素がなく、秘策やあからさまな技術的介入を必要としません。さらに、畑はそれぞれ明快さと焦点を保ちながら、自らの個性を発揮できるようになります。

瓶詰めしたワインは、アロマのディテールと高揚感が際立つワインで、果実のピュアさや瑞々しさが軽快に踊るようです。また、ボリューム感と芳醇な質感を構築し、どの銘柄も複雑さが共鳴して、味覚だけでなく記憶にも長く残り続けます。

私の記録は、2023年1月のものです。どうぞワインを楽しんだ上で、それぞれの銘柄について、あなたご自身の解釈を教えてください。

アンディ・スミス
醸造家、栽培家、パートナー



ウェスターリーチ：
複数の畑からなるスーパーキュヴェ

ウェスターリーチシリーズは、デュモルが20年以上にわたって専門としてきたロシアンリヴァーヴァレーでも、南西部の最果てで栽培されています。デュモルでは、栽培とワイン醸造を継ぎ目のない連続体としてアプローチしており、個性が特にはっきりした畑の多様な区画からブドウを選んでいきます。相補的な畑から慎重にブレンドすることにより、完全体で、複雑さを持ち、リリース時に飲み頃になるワインが出来上がります。ウェスターリーチは、デュモルを知っていただくのにぴったりのシリーズです。





インプレッション

デュモルのウェスターリーチ シャルドネ 2021年ヴィンテージは、私たちが暮らし、耕す、この最高水準の産地を多層的に解釈したワインです。このアペレーションでも特に偉大な場所 — 私たちが20年以上にわたって植栽し、栽培し、収穫してきた畑がいくつか含まれています。ロシアンリヴァーヴァレーで違った個性を持つ3か所で構成されたこのワインは、ロシアンリヴァーヴァレーと、かなり西にある複数の畑のブレンドです。この西の畑は、アペレーションでも標高が高い、海岸沿いの尾根にある最も冷涼な領域(リーチ)まで広がっています。どの地域も、谷床平地なら芳醇さ、尾根の稜線なら密度、沿岸地域なら生き生きとした味わいと、それぞれの個性が表れています。

北部のミドルリーチからは、フラックスエステートの果樹園のさまざまな果実味がワインの風味の核となっています。ロシアンリヴァーを挟んだ向かい側にある、エルディアプロの火山の山腹斜面は、テクスチャーと密度を強調。サンタローザ平原では、顔となるロンツォヴィンヤードの古木とコーナーストーンヴィンヤードから、それぞれトレードマークである刺激的なグレープフルーツの風味と、鋭い酸や蜂蜜っぽい芳醇さという特徴を多層的に取り出しました。ロシアンリヴァーヴァレーを背に沿岸部へ少しずつ進み、グリーンヴァレーを見おろす尾根筋という高標高地域になっていくと、そこは雄大なハインツランチです。ハインツランチは、甘やかなボタニカルとトリュフが染み込んだ複雑さ、ピリツとしたミネラル感でワインを完成形にまとめています。

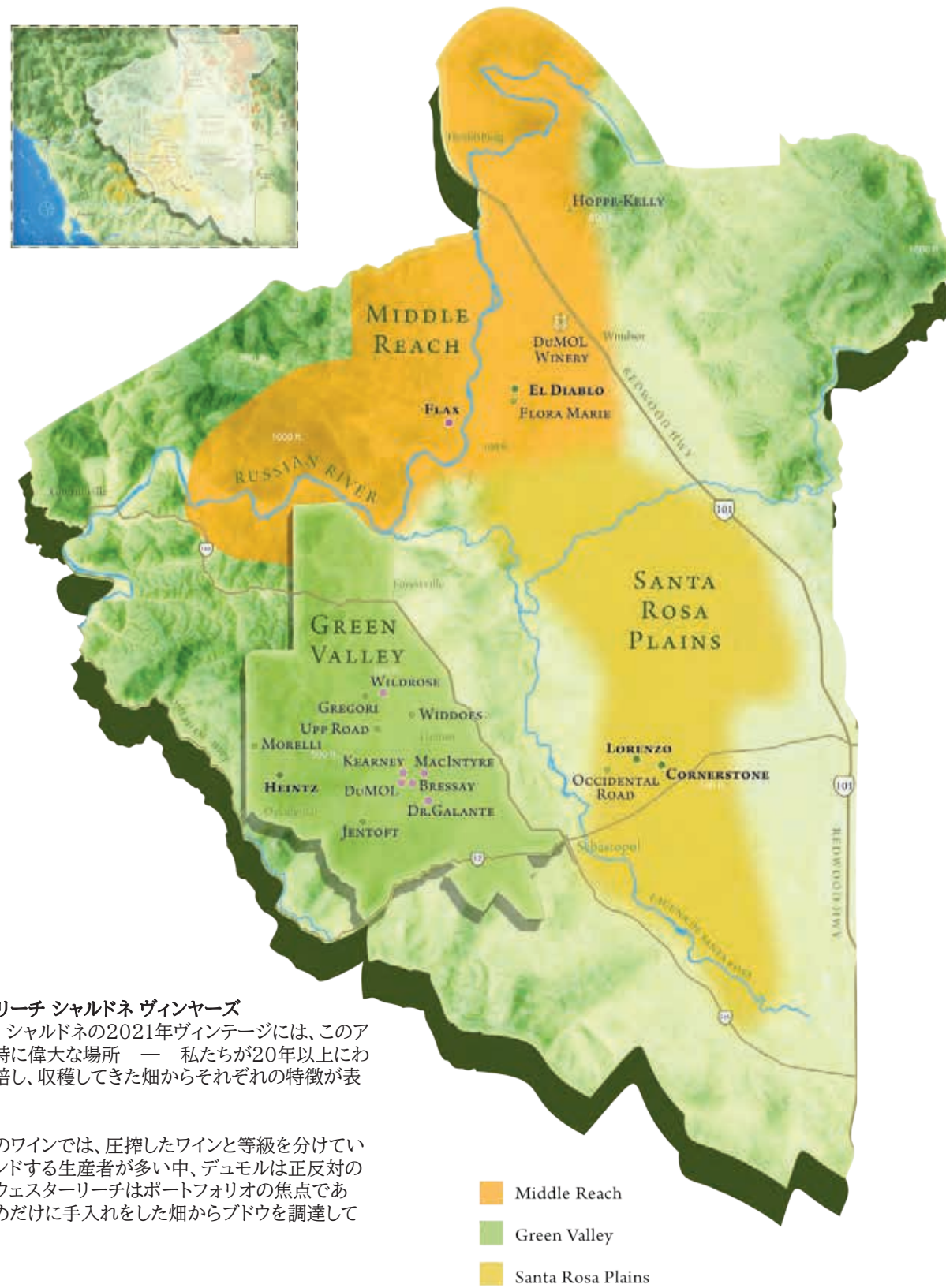
香りは、柑橘類とネクタリン、ジャスミンとオレンジブロッサム、塩気や火打ち石を含んだ波しぶきの切れ味の強さが素晴らしい、風味は、レモンっぽい青リンゴと、次に来る深い核果類を軸に、スイカズラやジンジャーをたっぷりと感じます。このワインのテクスチャーは、深く、オイリーで、多層的です。フレッシュなミネラル感とグレープフルーツの酸が芳醇さに割って入るため、長くこだまするようなフィニッシュにピンポイントで焦点を合わせてくれます。飲み頃は2023年~2027年。

94点

「リンゴ、軽めの蜂蜜、アカシアのアロマと風味が層を成す、骨格がしっかりとした白。ミディアムからフルボディ。クリーミーさを感じます。豊かな風味ですが、ほのかなフィニッシュ。火打ち石とヒマラヤスギのニュアンス」-ジェームス・サックリング、2023年3月21日

ヴィンヤードとワイン醸造の詳細

アペレーション	ロシアンリヴァーヴァレー
ヴィンヤード	フラックスエステート 38%、ハインツ 22%、コーナーストーン 18%、ロンツォ 14%、エルディアプロ 8%
クローン	オールドウエンテ #4、ロバートヤング
樹齢	8~48年
収穫日	8月27日~9月28日
樽熟成	タンクで4か月寝かせた後、ルモン、シャサン、アトリエサントルフランス製のフレンチオークの新樽30%で11か月熟成
アルコール度数	14.1%
生産量	750mlで3,500ケース



2021 ウェスターリーチ シャルドネ ヴィンヤーズ
 ウェスターリーチ シャルドネの2021年ヴィンテージには、このアペレーションでも特に偉大な場所 — 私たちが20年以上にわたって植栽し、栽培し、収穫してきた畑からそれぞれの特徴が表れています。

アペレーション名のワインでは、压榨したワインと等級を分けていないブドウをブレンドする生産者が多い中、デュモルは正反対の手法を取ります。ウェスターリーチはポートフォリオの焦点であり、この銘柄のためだけに手入れをした畑からブドウを調達しているのです。



QRコードからウェスターリーチ シャルドネの販促ツールにアクセスできます

- Middle Reach
- Green Valley
- Santa Rosa Plains



インプレッション

デュモルのウェスターリーチ ピノノワール 2021年ヴィンテージは、私たちが暮らし、耕す、この最高水準の産地を多層的に解釈したワインです。このアペレーションでも特に偉大な場所 — 私たちが20年以上にわたって植栽し、栽培し、収穫してきた畑がいくつか含まれています。ロシアンリヴァーヴァレーで違った個性を持つ3か所で構成されたこのワインは、ロシアンリヴァーヴァレーと、かなり西にある複数の畑のブレンドです。この西の畑は、アペレーションでも標高が高い、海岸沿いの尾根にある最も冷涼な領域(リーチ)まで広がっています。どの地域も、谷床平地ならテクスチャーとボリューム感、尾根なら果実味の強さ、沿岸地域なら明るい酸と、それぞれの個性が表れています。

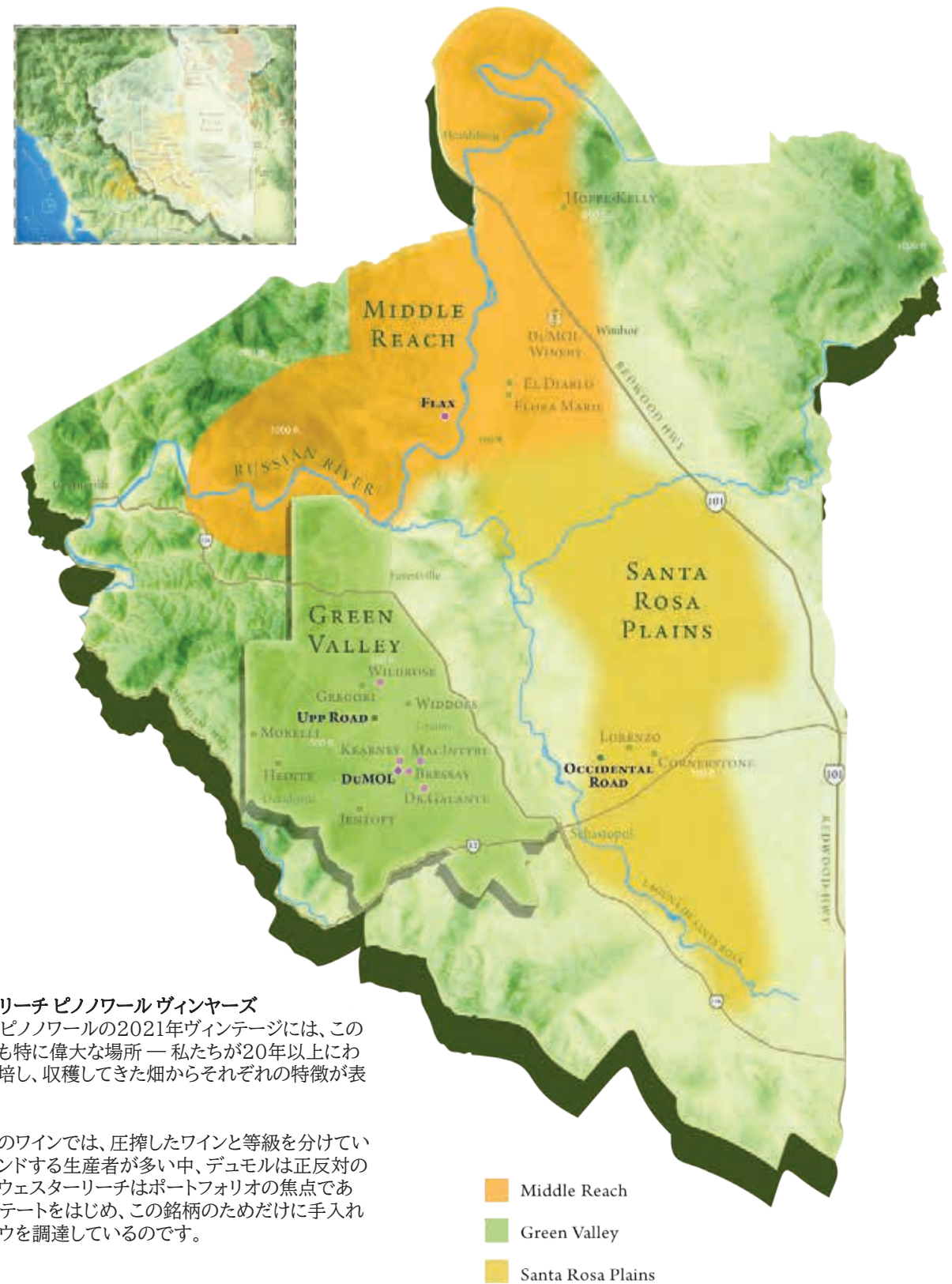
ワインの大きな基盤として中心になっているのは、沿岸地域にあるデュモルエステートの黒系果実の強さ、ピリッとしたスパイス、明るく生き生きとした風味です。グリーンヴァレーを見下ろす尾根の標高が高い場所では、アップロードが赤系果実と黒系果実の美しいほどにピュアな特徴を与えてくれます。サンタローザ平原の深くにある粘土土壌では、オクシデンタルロードが幅広く果実のエキスと芳醇なテクスチャーを提供。ミドルリーチでロシアンリヴァーを臨むフラックスエステートは、山腹斜面の火山性土壌が由来のボリューム感、ストラクチャー、凝縮感を織りなしています。

沿岸地域のロシアンリヴァーで定番のアロマと風味:かじるとパリッと音がする赤いリンゴの果皮、明るいレッドチェリー、濃いワイルドベリー、ハイビスカス、コショウ、フレッシュミント、複雑な森のノート。赤系と黒系の果実の中心に素晴らしいピュアさと瑞々しさがあり、それを支えるのが、調和の取れた紅茶の風味のタンニンと明るく生き生きとした酸です。フィニッシュは、滑らかで、快活さと長く続く香りの高揚感が焦点になっています。飲み頃は2023年~2029年。

95点 「...ブラックベリーとチェリーの黒系果実。熟したイチゴ。焦がしたオークや燻製のニュアンス。フルボディで、非常にしっかりと洗練されたタンニンが層を成しており、(略)このヴィンテージのストラクチャーを見せてくれます」-ジェームス・サックリング、2023年3月21日

ヴィンヤードとワイン醸造の詳細

アペレーション	ロシアンリヴァーヴァレー
ヴィンヤード	デュモルエステート 38%、オクシデンタルロード 24%、アップロード 20%、フラックスエステート 18%
クローン	カレラ、スワン、ボマル、ディジョン
樹齢	14~18年
収穫日	8月25日~31日
樽熟成	エルミタージュ、ルモン製のフレンチオークの新樽30%で15か月熟成
アルコール度数	14.1%
生産量	750mlで3,000ケース



2021 ウェスターリーチ ピノノワール ヴィンヤーズ
ウェスターリーチ ピノノワールの2021年ヴィンテージには、このアペレーションでも特に偉大な場所 — 私たちが20年以上にわたって植栽し、栽培し、収穫してきた畑からそれぞれの特徴が表れています。

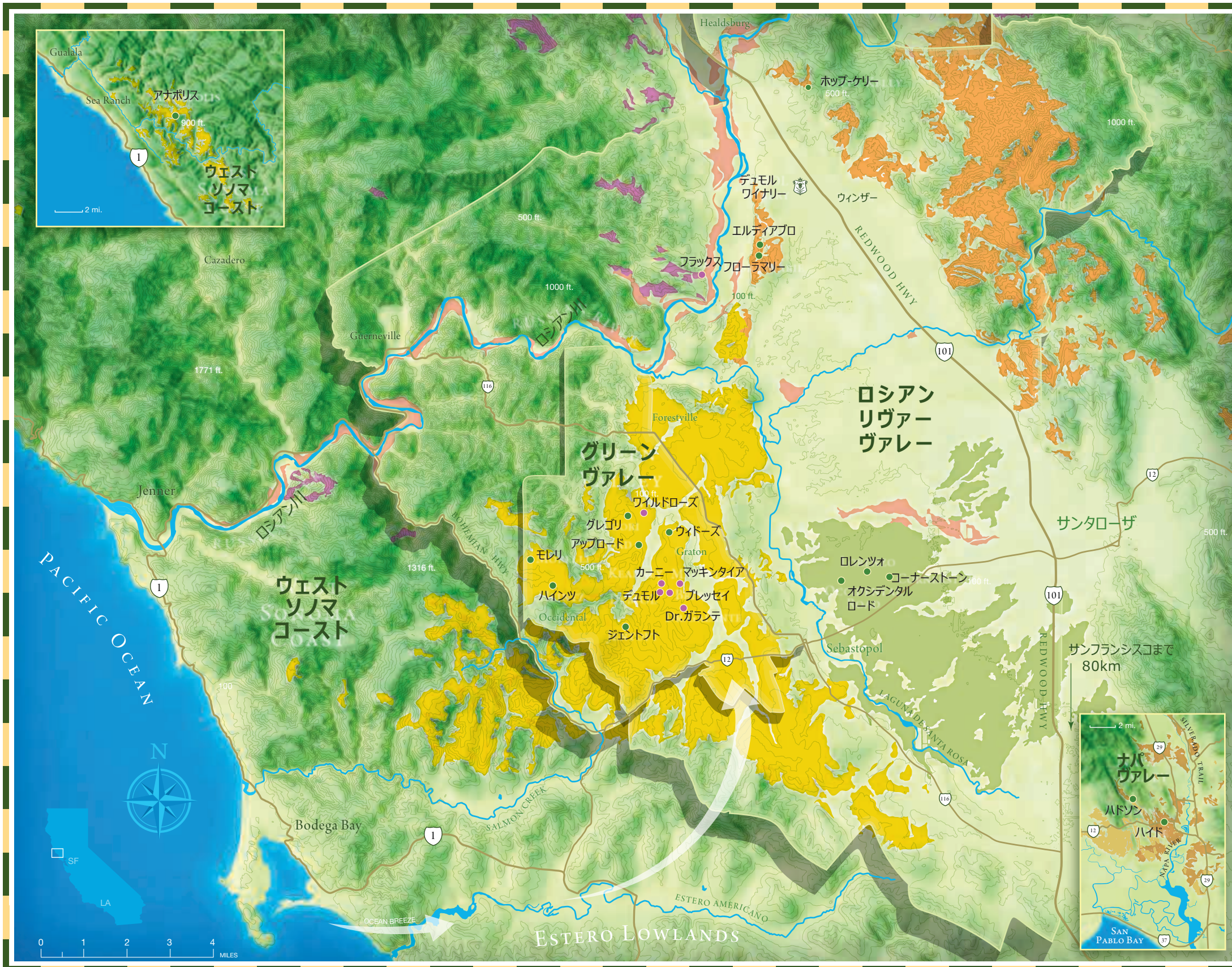
アペレーション名のワインでは、压榨したワインと等級を分けていないブドウをブレンドする生産者が多い中、デュモルは正反対の手法を取ります。ウェスターリーチはポートフォリオの焦点であり、高密度のエステートをはじめ、この銘柄のためだけに手入れをした畑からブドウを調達しているのです。



QRコードからウェスターリーチ ピノノワールの販促ツールにアクセスできます

- Middle Reach
- Green Valley
- Santa Rosa Plains

デュモルの ヴィンヤード



シャルドネ

ブルッセイエステート	2005*
コーナーストーン	2012
ダットン-ジェントフト	2007
ダットン-モレリ	1995
エルディアプロ	2008
フラックスエステート	2014
フローラマリー	2015
ハイツ	1982
ハドソン	2015
ハイド	1992
カーニーエステート	2005
ロレンツォ	1974

シラー

ダットン-グレゴリ	2000
ホップ-ケリー	1996

メンシア

マッキンタイアエステート	2016
--------------	------

シュナンブラン

マッキンタイアエステート	2016
--------------	------

*植栽年

ピノノワール

アナポリス	2018
ブルッセイエステート	2005
デュモルエステート	2004
Dr. ガランテエステート	1998
ダットン-ジェントフト	2007
ダットン-アップロード	2010
ダットン-ウイドーズ	1984
フラックスエステート	1998
マッキンタイアエステート	2016
オクシデンタルロード	1990
ワイルドローズエステート	2000

土壌型

ソノマの土壌
ゴールドリッジ細砂質ローム
フェルタ多砂利質ローム
ライトローム
ヨロ砂質ローム
サザーローム
ナパの土壌
ヘアー粘土ローム
ヘアーローム

- デュモル所有の畑
- 栽培パートナーの畑
- ハイウェイ
- AVA境界

2021 クロエ シャルドネ

即座にパワー、雄大さ、噛みごたえのある深みを感じられますが、エネルギーとフレッシュさに満ちています。早くから喜びを与えてくれるクロエは、最初に開けたいワイン。沿岸地域のシャープなワインが落ち着くまで待つ間にも楽しんでください。

インプレッション

デュモルの2021 クロエ シャルドネは2019年に始まったテーマを続けています。ロシアンリヴァーヴァレーの中央には、ロシアン川の東岸に痩せた赤い砂利質土壌の畑が複数あり、そこに焦点を絞ってテーマにしているのです。この近くの畑(フローラマリーとエルディアプロ)は、自然の特色として、パワーと凝縮感のある芳醇でおおらかなワインを生み出します。ワインの個性がエキゾチックになりすぎないよう、かなり早く収穫することが重要です。この芳醇さを下支えしているのが、沿岸地域のブレッセイエステートの特徴である柑橘系の酸が高いブロックで、最終的なブレンドに長い余韻と精密さを加えています。この組み合わせは即座にパワー、雄大さ、噛みごたえのある深みを感じさせますが、同時にエネルギーとフレッシュさに満ちています。早くから喜びを与えてくれるクロエは、最初に開けたいワイン。沿岸地域のシャープなワインが落ち着くまで待つ間にも楽しんでください。

タンジェリン、オレンジ、蜂蜜のアロマを、火打ち石、ミント、オイスターの殻のニュアンスが引き立てます。深く、強く、長いワインであり、ボリュームの大きさに焦点を当てています。桃、ネクタリン、砂糖漬けのショウガを思わせる多層的な風味が口中で仕上がります。生き生きとした酸にカットされるオイリーなテクスチャーがあり、フィニッシュは繊細なディテールと全体を覆うようなパワーを余韻に感じます。サーブするときは53°F(11.6°C)より温度が低くならないようにしてください。飲み頃は、2023年末から2030年の間です。

94
点

「切ったリンゴ、パイナップル、ほんのりピーチといった果実味のピュアさに撃ち抜かれます。ミディアムからフルボディ。鋭いフィニッシュ。根底にほのかな火打ち石と鋼。フィニッシュに向かって引き締まっていきます。緊張感のあるワインです」-ジェームス・サックリング、2023年3月21日

ヴィンヤードとワイン醸造の詳細

アペレーション	ロシアンリヴァーヴァレー
ヴィンヤード	フローラマリー 40%、エルディアプロ 30%、ブレッセイエステート 30%
クローン	モンラッシェ、ハイド-ウエンテ
樹齢	7年、14年、17年
収穫日	8月25日、27日～9月4日
樽熟成	タンクで6か月寝かせた後、ダミ製のフレンチオークの新樽35%で11か月熟成
アルコール度数	14.1%
生産量	750mlで1,230ケース



2021 ハイドヴィンヤード シャルドネ

ハイドの最新ヴィンテージは、過去20年以上この畑で造ってきた素晴らしい銘柄の向こうを張るワインです。アタックは鋼やミネラルを感じつつ、はっきりとしたエキスとパワーを伴う凝縮感と噛みごたえがあります。

インプレッション

ハイドの最新ヴィンテージは、過去20年以上この畑で造ってきた素晴らしい銘柄の向こうを張るワインです。私は、2015年、2020年、そしてこの2021年が最上のトリオだと考えています。通常のシーズンでは、この東側に面した山腹斜面の区画からは30バレル分生産できます。この2021年の凝縮感と複雑さが特別なのは、乾燥した年で17バレル分に収量が抑えられたためです。よく「Less is more(少ないほど豊かになる)」と言いますが、ワインが突出した品質を差し出してくれるなら、生産量の少なさを補って余りあります。どの畑でも目立って収量が少ない場合、ブドウがフレッシュさと繊細さを失わないうちにいち早く収穫することが重要になります。それが可能だったこのヴィンテージは、適度なアルコールに対して美しく成熟した風味と洗練されたストラクチャーのバランスが良いのが特徴です。醸造チームはこのハイドヴィンヤード シャルドネの20年目のヴィンテージを心から誇りに思っています。

申し分なく熟した果樹園の果物、火打ち石、タイム、芳しいフェネルの上部を感じるアロマ。アタックは鋼やミネラルを感じつつ、はっきりとしたエキスとパワーを伴う凝縮感と噛みごたえがあります。桃と柑橘類を思わせる風味は、クリーンで緻密、そして美しく均整がとれています。ワインが空気に触れると深みと広がりが生まれ、口中で味が仕上がります。その後でカットしてくるのがグレープフルーツの酸と白亜のフレッシュさの鋭いラインです。成熟した人に勤めたい、ワールドクラスのシャルドネです。サーブするときは53°F(11.6°C)より温度が低くならないようにしてください。飲み頃は、2023年末から2032年の間です。

96
点

「噛みごたえと深さという、ハイドの特徴をとらえたストラクチャーで、強い感動を与えます。しっかりとフェノリックなバックボーンに、明るい果実味、リンゴ、桃の果皮、根底に火打ち石のニュアンス」-ジェームス・サックリング、2023年3月21日

ヴィンヤードとワイン醸造の詳細

アペレーション	カーネロス - ナバヴァレー
ヴィンヤード	ハイドヴィンヤード 100%
クローン	オールドウエンテ
樹齢	32年
収穫日	8月31日
樽熟成	タンクで6か月寝かせた後、シャサン製のフレンチオークと、ファスピンドリシユネッケンライトナー製のパンチヨンの新樽合わせて35%で11か月熟成
アルコール度数	13.7%
生産量	750mlで430ケース



2021 デュモルエステートヴィンヤード シャルドネ

この最も偉大なヴィンテージにおけるハイライトのひとつです... ブドウ樹の成熟度から、この非凡な銘柄は、単にブドウを燃料にしたワインから、その場所の、つまり「テロワール」の表現に進化してきたことは明らかです。



インプレッション

わずか2エーカーのカーニーの区画から瓶詰めした、12番目のエステートシャルドネです。ブドウ樹の成熟度もあり、この非凡な銘柄が、単にブドウを燃料としたワインから、その場所の、つまり「テロワール」の表現を身に着けたワインに進化してきたことは明らかです。場所を表現する一流のワインは、毎年同じ特徴を伝えなければなりません。もちろん、ブドウの深み、凝縮度、酸の量などに変化はあるでしょう。しかし、こういった要素はヴィンテージが決める一時的な差異です。ワインの核となる本質的な個性、言うなればその魂はこの場所にしかない要素として毎年明確に表現されますし、それは他のどんな場所でも再現できません。そしてデュモルの2021年は、構成、長さ、テクスチャーにおいて2018年と2020年とそっくりです。この最も偉大なヴィンテージにおけるハイライトのひとつとなり、この場所は歴史になりました。

アニスの実、セージ、スペアミントというお手本のようなアロマに、青リンゴとライムが混じり合います。ワインが空気に触れると、現れるのが白い花の香りです。この風味は深くて強く、いかにもこのワインを象徴していますが、柑橘系のオイル、アプリコット、レモングラスを思わせるフレーバーも伴います。ボリューム感と粘性が存在し、深みと広がり、噛みごたえが1本を通して響き合います。洗練された白亜のミネラリーな酸がこの芳醇さを埋め合わせ、きびきびとクリーンで長いフィニッシュがさらに高まり、拡張されます。飲み頃は、2023年末～2032年。若いうちは1時間デキャンタージュし、サーブ時は53°F(11.6°C)より温度が低くならないようにしてください。

97
点

「タンニンと酸が共に高く、ストラクチャーがとてもしっかりしています。フルボディでパワフル。非常にフェノリックで余韻が長い。軽く塩キャラメル。熟した青リンゴとパイナップル...寝かせておくことを推奨します」-ジェームス・サックリング、2023年3月21日

ヴィンヤードとワイン醸造の詳細

アペレーション	ソノマコースト
ヴィンヤード	デュモルカーニーエステートヴィンヤード100%
クローン	マウントエデン
樹齢	17年
収穫日	9月3日
樽熟成	タンクで6か月寝かせた後、アトリエサントルフランス製のフレンチオークと、ファスビンデリシュネッケンライトナー製のパンションの新樽合わせて33%で11か月熟成
アルコール度数	14.1%
生産量	750mlで730ケース

2021 デュモルエステートヴィンヤード ピノノワール

元からあるデュモルエステートヴィンヤードのピュアな表現とブドウ樹そのものへの深い結び付きがあり、深さとエレガンスを持ちながらダイナミックで活力があるという特徴をどれも等しく兼ね備えたワイン。あふれるほどのテロワールの特徴が見られます。



インプレッション

デュモルエステートヴィンヤードはもともと8つに分かれた区画が9エーカーにわたって広がっています。デュモルでは、このうち3か所の区画の品質が突出していることを突き止めていました。2か所は砂質/シルト質土壌で、東に面しています。ここでは、高揚感のある香りの要素、果実の愛らしいピュアさ、緊張感のある酸があることがわかっています。もう1か所は砂が少なく、粘土が多い土壌で、やや西側に傾斜しています。このワインはタンニンが多く、もっと筋肉質で黒系果実の風味です。いわゆるテロワールに基づいたワイン造りにおいて、その信条の中心には、毎年毎年のブドウ樹の選択に一貫性を確立することと、唯一無二の小区画、つまり、表現したい具体性と興味をそそる特徴を持つ、質の高い小区画を特定することがあります。そしてそれが、そのままそっくりここで実現しているのです。この畑のピュアな表現とブドウ樹そのものへの深い結び付き、深さとエレガンスを持ちながらダイナミックで活力があるという特徴をどれも等しく兼ね備えているワイン。あふれるほどのテロワールの特徴が見られます。そうです、ご想像通り、本ヴィンテージを代表する1本です。

高揚する香りの複雑さ: 黒系果実、ハイビスカス、ミネラル、ハーブ/花の香り。このワインは若々しく、同時にブラックベリー、カシス、定番のブラックチェリーを思わせる風味によってとても親しみやすさを感じます。この風味は、しなやかなタンニンと生き生きとした酸に支えられた芳醇さとテクスチャーに広がっていきます。空気に触れていると赤系果実やハーブ/木の特徴に様変わりし、引き出された余韻が長く残ります。飲み頃は2024年中旬～2033年。

95
点

「たくさんの果実がぎゅっと詰まったフルボディのピノノワール。噛みごたえがあり、タンニンを強く感じますが、ハンドクラフトでの洗練もあります。筋肉質でしなやか。味わい深いフィニッシュ」-ジェームス・サックリング、2023年3月21日

ヴィンヤードとワイン醸造の詳細

アペレーション	ロシアリヴァーヴァレー
ヴィンヤード	デュモルエステートヴィンヤード 100%
クローン	カレラ、スワン、D943
樹齢	18年
収穫日	8月20日、24日、25日
樽熟成	メルキュレ、シャサン、アトリエサントルフランス製のフレンチオークの新樽 40%で15か月熟成
アルコール度数	14.1%
生産量	750mlで998ケース、1.5 lで24ケース、3lで30本

2021 ライアン ピノノワール

この新しいヴィンテージは昔のデュモルのことを思い出させてくれる1本です。香りの要素は、沿岸地域のグリーンヴァレーのエッセンス、例えば、ワイルドベリー、タイム、スペアミント、トリュフ、耕したばかりの土が強調されています。



インプレッション

ライアン ピノノワールの初ヴィンテージは2002年で、ダットン-ウィドーズヴィンヤードが主体となっていました。この畑は、グリーンヴァレーでも初期からある畑のひとつで、1984年に植栽されています。当時、畑の植密度は低く、灌漑もなく、ブドウの日除けとしてトレリスで植栽を行っていました。今やブドウ樹は、あらゆることを経験してきたと言っていいほど経験を積み、屈強な樹となっています。ここ最近気候も極端でしたが、地中深く根を張ったブドウ樹は干魃や熱波も問題なく耐え抜くことが可能です。そしてブドウは唯一無二の個性にあふれ、ワイルドベリー、豊かな旨味やトリュフの香り、下生えの草や森林を思わせる複雑さを備えています。そこに沿岸地域の明るさを持つジェントフトのブドウを重ねると、ブレンドが途端に生き生きとし、味覚の隅々まで染み渡っていきます。私にとって初ヴィンテージである2002年のライアンがずっとお気に入りだったのですが、この新しいヴィンテージは昔のデュモルのことを思い出させてくれる1本。回想のワインです。

香りの要素は、沿岸地域のグリーンヴァレーのエッセンス、例えば、ワイルドベリー、タイム、スペアミント、トリュフ、耕したばかりの土が強調されています。黒系果実のトローチを真ん中に、チェリー、リコリス、イバラの香りを持つこのワインは、釣り合いが取れていて、生き生きとダイナミックです。凝縮感と深みがあるものの、常に明るい印象です。非常に目の詰まったワインで、長い余韻には、スパイシーなフィニッシュにフレッシュで焦点の合った酸を感じます。飲み頃は、2023年末～2032年。

95
点

「香りは、クローヴ、白コショウ、ナツメグなどのスパイスをふんだんに感じますが、途中でハイビスカス、ラズベリー、上部が白い切りたてのイチゴに変わってきます。ミディアムボディ。最後はピリッとします」-ジェームス・サックリング、2023年3月21日

ヴィンヤードとワイン醸造の詳細

アペレーション	ロシアンリヴァーヴァレー
ヴィンヤード	ダットン-ウィドーズ 54%、ダットン-ジェントフト 46%
クローン	マティーニ、スワン、カレラ
樹齢	37年、15年
収穫日	9月2日、9日
樽熟成	ルモン、ミラル製のフレンチオークの新樽33%で15か月熟成
アルコール度数	14.1%
生産量	750mlで1,174ケース、1.5 lで16ケース、3lで18本

2021 フィン ピノノワール

最良ヴィンテージにおいて、当然フィンがトップに君臨します。(略)また、ローカルのピノノワールの二面性である「明るく情緒的」と「深くて大らか」もバランス良く相補的に見せてくれます。



インプレッション

ご想像通り、最良ヴィンテージにおいて、当然フィンがトップに君臨します。今冬に素晴らしい飲み頃を迎えるワインですが、5年後はもっと良くなるはずですし、ピークは8年から10年後でしょう。使われている2つの畑は、シルト質/砂質、粘土質/ロームと、土壌にはっきりとした個性があり、ワインはその個性を表現しています。また、ローカルのピノノワールの二面性である「明るく情緒的」と「深くて大らか」もバランス良く相補的に見せてくれます。2021年のフィンは、デュモルのピノの二大優良年である2018年と2014年にスタイルと品質が一番近いと言えるでしょう。細かく批評したり、分析しすぎたりする必要のないワインであり、素晴らしい品質とこのワインがくれる喜びをただ堪能してください。

美しく引き出され、広がりのあるアロマと風味を持ち、多層的で見事なワイン。心を撃ち抜かれるような、妙なる複雑なアロマは、ダークラズベリー、ダークチェリー、スマレ、ラベンダーを湛えています。赤系果実と黒系果実の風味が強く、深みと凝縮感がありつつ優美でピュアな印象です。完璧な層を成すタンニンは、このワインが元々持っている、心が弾むような効果を生み出す上質な酸と美しく融合しています。空気に触れると引き締まり、余韻が長く、ミネラル感が増しますが、これは熟成のポテンシャルを表しています。飲み頃は、2023年末～2032年。

97
点

「圧縮感があり、ストラクチャーがしっかりしたピノノワールで、バックボーンに多くのタンニンがありますが、優雅で洗練されています。鋼を感じ、噛みごたえがあります。青系果実とイチゴ。非常に芳しい。フルボディ、タイトで活力があるワインです」-ジェームス・サックリング、2023年3月21日

ヴィンヤードとワイン醸造の詳細

アペレーション	ロシアンリヴァーヴァレー
ヴィンヤード	ブレッセイエステート 58%、オクシデンタルロード 42%
クローン	カレラ、マッサルセクション
樹齢	15年、31年
収穫日	8月28日
樽熟成	メルキュレ、シャサン、アトリエサントルフランス製のフレンチオークの新樽38%で15か月熟成
アルコール度数	14.1%
生産量	750mlで610ケース、1.5 lで24ケース、3lで30本




写真: 赤い火山性土壌を持つ、山腹斜面のフラックスエステート
ヴィンヤード。産地の名称にもなっているロシアン川を見下ろす場
所であり、この素晴らしい地域を代表する芳醇で深いワインを生
み出します。

1996年に創業したデュモルは、冷涼なロシアンリヴァーヴァ
レーにおいて、個性が際立つ各ヴィンヤードから、細かいニュア
ンスを大切に、畑を重視したピノノワールとシャルドネを造るこ
とに身を捧げています。デュモルで長い年月を共にしている
チームは、個性あふれる畑を細やかな手仕事で栽培することに
ひたすらひたむきに取り組んできました。そして、デュモルは、
この間にあなたとのつながりが築かれたことに深く感謝します。



デュモルの輸出用販促ツール
にアクセスできます



「ワインメーカーであり、共同オーナーであるアンディ・スミスとアソシエートワインメーカーのジェナ・デイヴィスが息をのむような2021年のラインナップを紹介してくれましたが、今年、デュモルからテイスティングしたワインに圧倒されてしまいました。2021年は、ここでテイスティングした中でも屈指の偉大なヴィンテージです。(略)シャルドネは、信じられないほどピュアで見事な出来栄え。ピノも同様に、圧倒的なコレクションになっています」

—アントニオ・ガローニ(Vinous代表)、2023年1月